

多加志の ところざし

淀川区長
おかもと たかし
岡本 多加志



謹賀新年

新年明けましておめでとうございます。区民の皆様におかれましては、新しい年をお迎えになられましたことをお喜び申し上げます。

さて、今年は4月13日から10月13日の184日間にわたって、161の国・地域、9の国際機関、そして、企業や市民団体などが参加する大阪・関西万博が大阪・夢洲にて開催されます。

「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、人類共通の課題解決(SDGsの達成)に向け最新の技術や文化を体験するにとどまらず、参加者一人一人に対し、自らにとって「幸福な生き方とは何か」を正面から問う、初めての万博となります。

ぜひご家族やご友人と一緒に過ごしていただき、この素晴らしいイベントを楽しんでいただければと思います。

一方、大阪市では、大阪・関西万博の開催理念に照らし、1月27日から市内全域での路上喫煙禁止の取組を実施します。

平成19(2007)年4月に施行された「大阪市路上喫煙の防止に関する条例」を改正し、現在の路上喫煙禁止地区(6

地区)を大阪市内全域に拡大するもので、その対象は大阪市の管理する「道路・広場・公園その他公共の場所」等とし、この区域で路上喫煙を行った場合は1,000円の過料徴収の対象となります。

また、これまでは「火のついたたばこ(いわゆる紙巻たばこ)」のみを規制の対象としていましたが、加熱式たばこも対象に加えることとしています。

併せて、分煙環境の整備の一環として、大阪市及び民間事業者による補助制度を活用した喫煙所の設置など、分煙施設の整備も進めており、今月下旬には、新設改修により140か所以上、無償での一般開放を含めると概ね200か所の指定喫煙所を確保する見込みです。路上喫煙禁止の取組にもご理解、ご協力をお願いします。

大阪市内の
喫煙可能な場所



備えてますか?

災害は突然起こります!

平成7年1月17日に発生した阪神淡路大震災。今年で30年が経過します。また、昨年1月には能登半島地震、8月には日向灘を震源とする地震が発生し南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)が

発表されました。いつかは起こる、南海トラフ巨大地震。いつどこで起こるかかわからない災害へ、日ごろからの備えを今一度考えてみませんか。

ストレスレスな 避難生活への備えを

たくさんの人が集まる避難所では、プライバシーの確保が難しく、環境の変化により体調を崩すこともあります。災害時、自宅で安全に居住できる場合は「自宅避難」による「自助」でストレスを少しでも少なく!

避難所で最低限の物資を得ることはできますが、備蓄物資には限りがあります。よりストレスレスな「自宅避難」生活を送るため、食料や水等を日ごろから備蓄しておきましょう!

✓ 自宅用備蓄品

<input type="checkbox"/> 非常食(アルファ米・乾パン・缶詰等)	<input type="checkbox"/> ポリ袋	<input type="checkbox"/> 体拭き用ウェットシート
<input type="checkbox"/> 飲料水	<input type="checkbox"/> マスク	<input type="checkbox"/> LEDランタン
<input type="checkbox"/> 乾電池	<input type="checkbox"/> 除菌グッズ	<input type="checkbox"/> 救急セット
<input type="checkbox"/> 生理用品/育児用品/介護用品	<input type="checkbox"/> トイレトペーパー	<input type="checkbox"/> クーラーボックス
<input type="checkbox"/> ラップ・アルミホイル	<input type="checkbox"/> ティッシュペーパー	<input type="checkbox"/> カセットコンロ・カセットボンベ
<input type="checkbox"/> 布ガムテープ	<input type="checkbox"/> 非常用トイレ(1週間分)	<input type="checkbox"/> 電池交換式モバイルバッテリー
<input type="checkbox"/> ごみ袋/消臭袋	<input type="checkbox"/> ラジオ	<input type="checkbox"/> 皮手袋 または厚めの軍手など

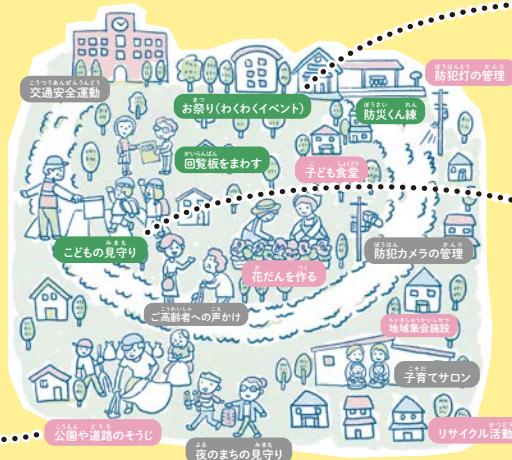


いざという時に、 頼れる仲間づくりを!

災害時には、自助に加え地域の仲間同士で助け合う「共助」の力が大切になります。スマホやSNSの普及で、人とのつながりのあり方が変化している時代。今一度ご近所さんとのつながりを見直してみませんか?

地域活動への参加で顔見知りづくりから!

地域の仲間が集まった地域活動協議会(地活協)が中心となって、みなさんが安心、安全に楽しく暮らせるよう、行っている活動がたくさんあります。



顔見知りの関係ができれば、災害時だけでなく、日常で困った時にも大きな助けとなるはず。地域の仲間の一員として、地域活動に参加してみましょう!

地域で防災に取り組んでいます!



防災訓練・避難所開設訓練

けが人を搬送するための担架や車いすでの搬送訓練、火事を想定して水消火器を使った消火訓練をはじめ、自主防災組織として災害時、避難所を開設する手順の確認などを行っています。



地域防災リーダー

阪神・淡路大震災をきっかけに生まれ「自分たちのまちは自分たちで守る」自主防災意識のもと、災害時に必要な知識や技術の習得のため訓練に取り組んでいます。



地区防災計画

自分の住んでいる地域の災害時の対応、一時避難場所などについて話し合い、各地域で作成する「地区防災計画」。地域の特性にあわせ、改定も行っています。



家族で話し合い、書き込もう「ぼうさいノート」

「よどがわぼうさいプロジェクト」と淀川区が協力し「ぼうさいノート」を作成しました。日ごろから、家族と一緒に「ぼうさい」について考えてみましょう!

よどがわぼうさいプロジェクトとは?

防災士・介護福祉士・看護師・助産師・社会福祉士など女性を中心としたメンバーが、誰ひとり取り残さないという想いにより、立ち上げたプロジェクト。「ぼうさいノート」はその想いを「かたち」にした冊子です。

ぼうさいノートに書き込むこと

- ・家族やペットの写真と名前
- ・持病やアレルギーなど必要なサポート
- ・緊急時の連絡先や集合場所
- ・近くの避難所の場所や経路 など

配布場所 2月以降に淀川区役所ほか(詳細は淀川区HPIにて順次公開)

